

(様式)

## 令和7年度「SDGsの実現に向けた教育推進事業」取組内容

皆野町立皆野中学校

### 1 育成する能力

- ・多様な視点から問題を解決する力
- ・互いの意見を尊重し、認め合う力
- ・身近な課題を自分事として捉え、主体的・能動的に行動する力

### 2 研究概要

#### (1) 取り組むSDGsの目標



※該当する目標について、下部の画像から選択し、コピーして貼り付けてください。(複数可)

#### (2) 研究主題

「学び合う集団の育成」  
～地域を支え、地域に貢献する次世代の育成～

#### (3) 研究仮説

SDGsについて考え、学び合う集団を育成すれば、「多様な視点から問題を解決する力」「互いの意見を尊重し、認め合う力」「能動的に行動する力」が向上し、地域の課題を自分事としてとらえ、地域に貢献する生徒を育成することができるであろう。

### 3 企業・団体との連携

#### (1) 連携・協働した企業・団体

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ① 株式会社 東洋精工    | ② 株式会社 上武    |
| ③ 診療印刷株式会社     | ④ 株式会社 ノア    |
| ⑤ 早稲田大学人間科学学術院 | ⑥ 埼玉女子短期大学   |
| ⑦ 日本テレビ放送網株式会社 | ⑧ 埼玉県立皆野高等学校 |
| ⑨ 皆野町役場        | ⑩ 皆野町商工会     |
| ⑪ 皆野町地域おこし協力隊  |              |

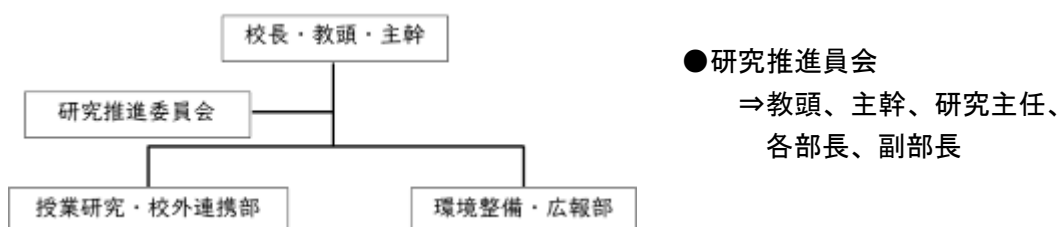
#### (2) 連携・協働した主要内容

- ①(株)東洋精工  
⇒皆野教育シンポジウムにおいて、ディスカッションのメンバーとして参加していただいた。
- ②(株)上武  
⇒壁画を作成し、会社の入り口等に展示していただいた。また皆野教育シンポジウムにおいて、ディスカッションのメンバーとして参加していただいた。
- ③診療印刷(株)  
⇒研究紀要の作成にあたって、地元企業として協力をいただいた。
- ④(株)ノア  
⇒1学年の出前授業で、「教室の机を修理してみよう。学習机の天板交換の意義(環境面・財政面)」について説明していただき、天板交換作業を体験した。  
SDGsに関わる会社としての取組についても紹介していただいた。

- ⑤早稲田大学人間科学学術院  
⇒皆野町の未来を創造しよう～地域の課題を解決し、住み続けられる町づくりを実現しよう～のテーマのもと、年3回生徒とともに課題解決に向けた話し合いを行った。
- ⑥埼玉女子短期大学  
⇒2年生の職場体験学習に向け、CA経験のある講師を招いてビジネスマナー講座を開催した。
- ⑦日本テレビ放送網株式会社  
⇒日本テレビ報道局ご経験の講師を招いて、情報のタネの見つけ方というテーマで講演とグループワークを実施した。
- ⑧埼玉県立皆野高等学校  
⇒1年生を対象に、「課題発見・課題解決能力の育成に向けた外部機関との連携事業」として地元企業との連携など皆野高等学校の取組について学んだ。
- ⑨～⑪皆野町役場、皆野町商工会、皆野町地域おこし協力隊  
⇒皆野教育シンポジウムに向け、9月～11月までの計3回にわたって町の課題解決のためのディスカッションを実施した。それぞれの立場から、町が抱える課題とこれからの展望について話し合った。

#### 4 研究内容

##### (1) 研究組織



##### <授業研究・校外連携部>

- ・SDGsの視点を入れた年間計画、総合の計画作成
- ・授業研究の計画・立案
- ・SDGsの取組に関わる校外連携(校外学習や職場体験、シンポジウム等)

##### <環境整備・広報部>

- ・各学年フロアのSDGsコーナーの整備
- ・SDGsの取組のまとめ・紹介(R5～R7分)

##### (2) 研究の流れ

- ・4月に第1回の研修にて、研究組織の編成を行った。年間で合計9回の校内研修を実施した。
- ・6月、7月に北部教育事務所や皆野町教育委員会と本発表に向けた進め方について確認をした。
- ・夏季休業を活用して、部会ごとに3年間の研究成果についてまとめを行った。
- ・10月に「第1回グループディスカッション」として地域の方々や早稲田大学の学生と意見交換を行った。
- ・11月に「皆野教育シンポジウム」として、大人と生徒が車座となって課題解決に向けた意見交換を行った。
- ・12月に「町への提言発表会」として、皆野町長をはじめ関係各所に生徒たちが考えた提言を発表して伝えた。その後パネルディスカッションとして、大人同士で「地方創生型人材の育成」について意見交換を行った。
- ・1月に「SDGsの実現に向けた教育推進事業」のまとめとして、成果と課題について全職員で話し合った。

##### (3) 取組

###### ①各研究部の取り組み【授業研究・校外連携部】

- (1) SDGsの視点を入れた年間計画等の作成を実施した。  
すべての計画、立案にSDGsの視点を入れた。

令和7年度 4年5月活動重点計画目標達成計画書

年度	学校行事	1年	2年	3年	SDGsの推進	学校活動
4	新入学・入学式 1 新711のバーベキュー 2 校長の講話	・中学生活になって 1 学校生活を楽しむ 2 学年の目標を作る 3 学年の目標を達成する	・2年生になって 1 学年目標を作る 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	・3年生になって 1 学年目標を作る 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	17 SDGsの推進	学校委員会 学校委員会 生徒会
5	中間テスト 体育祭	・4年4学期の中間テストの準備 1 体育祭の準備 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	・5年生になって 1 学年目標を作る 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	・6年生になって 1 学年目標を作る 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	4 読書の推進	専門委員会 読書委員会 読書委員会 読書委員会
6	総合学習 環境総合学習大会	・「未来館のからだ」の 1 環境総合学習大会の準備 2 環境総合学習大会の開催 3 環境総合学習大会の振り返り	・6年生になって 1 学年目標を作る 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	・7年生になって 1 学年目標を作る 2 学年の目標を達成する 3 学年の目標を達成する	11 SDGsの推進	専門委員会 読書委員会 読書委員会

キャリア教育「キャリアプランニング能力」の育成  
**令和7年度「夢・志発表会」—全員作文と決意発表会—**  
 (担当：研究主任・進路指導主事・特別活動主任)

1 目的

- (1) 考えをまとめ発表させることで、先を見通して行動する資質や志を立てて自主的に行動する力を養い、キャリア教育におけるライフプランニング能力の向上を図る。
- (2) 少年の主張埼玉大会・全国大会への参加も視野に入れ、文章を書いたり、発表したりする機会を設けることで、自分の考えをまとめ表現する力を養い、「思考・判断・表現」の能力の向上を図る。

(参考 R6 少年の主張埼玉大会・作品集  
R6 第46 回少年の主張全国大会・動画)

(2) 授業研究の計画・立案



3年音楽科



2年社会科



1年家庭科

(3) SDGsの取り組みに関わる校外連携

●町役場企画財政課出前授業



●ビジネスマナー講座(埼玉女子短期大学)



●環境学習応援隊(株式会社ノア～天板交換～)



●日本テレビ放送網株式会社(情報のタネの見つけ方)

日テレ×授業  
**情報のタネの見つけ方**  
 皆野町立皆野中学校  
 2025年2月20日(金)開催  
 0テレ



②各研究部の取り組み【環境整備・広報部】

(1) 各学年フロアの SDGs コーナーの整備



生徒トイレ入口



トイレ水道



トイレ内



教室電気スイッチ



図書館入口



技術科室入口



廊下水道



保健室入口



印刷室



## (2) 作品展の出品票

GOALS 皆野中学校 夏休み自由研究 作品展 GOALS	
学年・学級・番号	年 組 番
氏名	
作品の教科	
作品名	
SDGsとの関連 No. ( ) 「 」	
研究の感想・作品のアピールポイントなど	

第38回社会科展覧会 出品票	
学校名	皆野町立皆野中学校
氏名	2年氏名 [ ]
作品名	秩父音頭マスターになろう!!
◎見てほしいところ、作品のポイント	

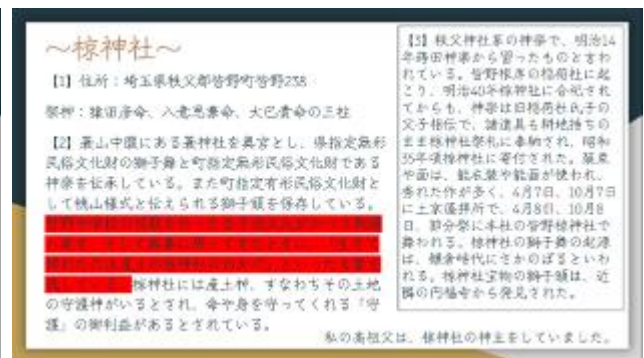
第38回社会科展覧会 出品票	
学校名	皆野町立皆野中学校
氏名	2年氏名 [ ]
作品名	海ごみ問題を考える
◎見てほしいところ、作品のポイント	

## ③各学年の取組

### (1) 1年 皆野町と他の町を比較しよう

～皆野町と他市町村を比較して住み続けられる町づくりを実現しよう～

皆野町の地形や人口、特産物などについて調べ、まとめたのち、校外学習で見学してきた町と比較することで、皆野町の良さを再発見した。



### (2) 2年 地域の産業について知ろう

～地域の産業を知り、住み続けられる町づくりを実現しよう～

地域資源を活かした産業を行う会社にも協力していただき、職場体験学習を行った。



### (3) 3年 皆野町の未来を創造しよう

～地域の課題を解決し、住み続けられる町づくりを実現しよう～

地域の人たちと共に皆野町の課題について考え、その解決策について話し合った。



## 5 成果と課題

### ○ 児童生徒の声や変容

- ・どの班も、よく考えられた提言で素晴らしいと思い、尊敬しています。  
今回のシンポジウムのように早稲田大学の人や地域の方々と話合いをしながら、考えを深めることができたのはとてもいい経験になりました。すごく達成感があります。
- ・SDGsに関連して、会社で大切にしている考え方があり、それをもとに仕事を進めていて尊敬することが多くありました。簡単な作業であったが、たくさんの数をこなしていることに凄さを感じました。

### ○ 学校全体の変容や教職員の声

- ・皆野教育シンポジウムの取組を通して、「住み続けられるまちづくり」について自分事として考えるきっかけとすることができた。
- ・教職員自身も、自分の地元と比較し課題解決に向けた検討を生徒とともにできた。
- ・SDGsに関連する校内掲示が充実したことによって、生徒が普段から身近にSDGsを意識することができるようになった。

### ○ 連携した企業・団体の声

- ・生徒の発表は子どもたちだけでは実現できない事も多いと思いますが、よいアイデアを町の方々をはじめとした大人にぶつけることができたと思います。発表したものが、一つでも実践、実行ができれば、次に繋がるのではないかと思います。
- ・生徒の提言を聞き、地域に遊び場、放課後や休日に過ごせる場が少ないことが切実な悩みであり課題なのかと感じました。廃校を活用した取組は、これを改善するための施策になると感じました。
- ・生徒が「自分事」として課題を捉えて考えていると感じました。町の職員としても大変嬉しく思い、今後繋げていかなければならないと強く思いました。

### ○ 今後の課題

- ・皆野中学校で3年間取り組んできたSDGsの研究過程や成果を外部(他の小中学校や町民など)へ引き続き発信していきたい。
- ・生徒が「提案する」だけで終わらないようにしたい。なにか小さなことでも実際に形になることが今後必要になってくると感じている。さらに、生徒たちの提案が町役場や公民館など、もっと町民の方々の目に止まるような場所に掲示するようにもしていきたい。